

宇和島市における農業支援体制の整備について

【平成27年度愛媛県 普及現地事例情報（南予地方局産業振興課地域農業室）】

[抄録]

宇和島市吉田町は、宇和島市を代表する柑橘地帯ですが、農家の後継者不足・高齢化の進行により、産地存続に大きく影響することが危惧されています。

そこで、地域農業室では、多様な担い手を確保する試みとして、農外の労働力を補完する視点から農作業ボランティア「宇和島シーズンワーク」を支援しています。

また、地域に人を呼び込み、観光農園や立木オーナー制など農地の多目的な利用を推進しています。

[本文]

詳細は添付ファイルを参照ください

宇和島市における農業支援体制の整備について

南予地方局産業振興課地域農業室

宇和島市吉田町は、宇和島市を代表する柑橘地帯ですが、農家の後継者不足・高齢化の進行により、産地存続に大きく影響することが危惧されています。

そこで、地域農業室では、多様な担い手を確保する試みとして、農外の労働力を補完する視点から農作業ボランティア「宇和島シーズンワーク」を支援しています。

また、地域に人を呼び込み、観光農園や立木オーナー制など農地の多目的な利用を推進しています。

農作業ボランティアの推進・支援

農作業を手伝う代わりに、食事や宿泊は農家が提供する「宇和島シーズンワーク」（3泊4日、宇和島市吉田町）は、年2回実施され、今年で8年目を迎えています。

受入農家は15件、参加者も年々増え平成26年は計58人（リピーター28人）が7月に摘果作業、11月に収穫、選果、袋かけなどの農作業で気持ちの良い汗を流し、田舎暮らし体験を満喫しました。



シーズンワークでの作業



シーズンワーク運営会議による検討

運営会議で取り組みを検討

「宇和島シーズンワーク」運営会議では受入農家の確保や受入体制の拡充等について、農家間での積極的な意見交換を促し、充実したメニューづくりに取り組んできました。その結果、現在、この事業に参加した1人（Iターン）が、吉田町でみかんづくりに取り組むなど成果をあげています。

今後、就農者・移住者のさらなる拡大や宇和島市のPRを目的に「手伝ってもらってありがとう」の心で、事業を推進していくこととしています。

観光農園や立木オーナー制で情報発信

観光農園は吉田町内に3ヶ所あり、近年集客数が減少傾向にあるためイベントなどによる集客を提案するなど活動を支援しました。また、吉田町のファンになってもらうため立木オーナー制の普及にも取り組みました。

交流イベント（年3回の感謝祭、延べ約3,000人参加）や広報誌などによる情報発信を重ね、吉田町のファンづくり、交流人口の増加に努めています。



観光農園を中心にした交流イベント